

2021年3・4月 No.360

ニュースレター

こんにちは、MISHOP です。



日本で生活を続けている 外国籍の皆さん、どうしてますか?(vol.2)

新型コロナのために外出もままならない今、「外国籍のみんなはどうしてるかなあ…」と気がかりな会員さんの声があったことから始まったこの企画。

コロナ禍に日本で生活を送っている外国籍の皆さんに、コロナ禍で変わったことや新しく始めたことなどお話をうかがい、日本での生活の現状について、会員の皆さんにご紹介してまいります。

○ 今回は、フィリピン出身のピラフロ ロリス アンジェリ(ラウ)さんと、イギリス出身のマット メイヴィル(マシュー)さんにお話をうかがいました。

ピラフロ ロリス アンジェリ(ラウ)さん

フィリピン・レイテ島出身。

フィリピンの大学の教授の勧めで、東京大学の大学院で海岸工学の研究のため、日本へ留学中。インタビュー当日は、大学のキャンパスからZOOMで答えてくれました。



Daily Life 日本での日常は?

〈毎日の生活は?〉

新型コロナのため、昨年の4月から大学の全ての授業がオンラインになりました。私の研究も暮らしている三鷹の学生寮で行っていますが、今年3月初めから、もっと生産的な研究をするため、週に2日ほど大学に通っています。通学時間が片道1時間15分もかかるので、大学に行ったら、一日中大学で研究をしています。

〈日本語の学習〉

MISHOPのLLJで日本語を勉強しています。日本語の会話の練習はもちろん、他にもたくさんのお話を学ぶことができるので、毎週レッスンを楽しみにしています。

残念なことに、コロナ禍で、LLJのレッスンの他には、日本語でのコミュニケーションの機会がほとんどなくなって

しまいました…が、申し込んでいた市のスポーツセンターでの水泳教室が最近始まり、そこで、同じクラスの日本人の方と知り合うことができ、日本語をお話する機会ができました。きれいに泳げるようになることが目標なので、次のコースも参加したいと思っています。

また、週に一度、アルバイトで、日本人の子ども二人(10歳と13歳)に英語を教えています。

Problem 何か問題は?

コロナ感染症が流行し始めた昨年の4、5月頃は、寮で「ステイホーム」を余儀なくされ、大学へも行けず、すごくストレスが溜まっていました。友達と会ったり、楽しく過ごしたりといった普通のことができませんでした。

でもその間、同じ寮で暮らす日本語が上手な韓国人の留学生と仲良くなることができ、とてもラッキーでした。ロックダウン中、私たちはよくおしゃべりをしたり、一緒にスーパーに買い物に行ったりしました。こうして1年が経ち、新しい生活様式にもやっと慣れました。

困った事といえば、昨年、近所のスーパーで財布を失ってしまったことがありました。警察にも行ったりしましたが、結局拾った方が届けてくださり、とってもうれしかったです。また、日本へ来る前に、「東京は英語が通じるから大丈夫!」とまわりの人に言われていましたが、実際に来てみたら、英語がほとんど通じないので、本当に困りました。「どうしよう…!!!」って(笑)

日本の印象は?

何より「物価が高い」と思いました。一方で、とても交通の便が良いところだと思えました。とくに電車が便利で、運行時刻の正確さには驚きました。

レイテ島では魚は豊富ですが、生の魚を食べたことがありませんでした。日本に来てから初めて食べましたが、今では生の魚も好きになりました。普段、あまり料理はせず、スーパーでお弁当をよく買っています。



日本で訪れた場所は？

京都、大阪、長野、新潟、岩手、高知。

岩手と高知は、研究のため、長野と新潟は、スノーボードをするためです。雪は初めて見たので、とても感動しました。大阪は、ユニバーサルスタジオに行きました。冒頭の写真はユニバーサルスタジオに行った時のものです！また日本中を旅することができる日が早く来ることを祈っています。日本以外では、マレーシア、オーストラリアを訪れたことがあります。

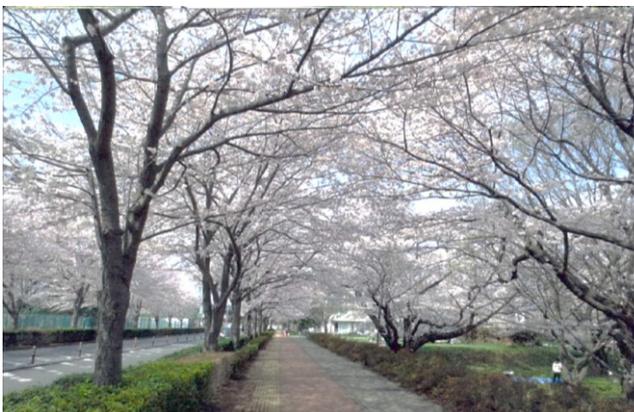
Dream これからの夢は？

大学卒業後は日本で仕事がしたいと思っています。(そのために日本語も勉強しています。)もちろんフィリピンに戻ってもいいし、他の外国で働くのもいいですね。海外で働くことは、自分のキャリアにおいて、とてもよい経験になると思っています。

Message メッセージ

私の研究領域は、海岸工学です。特に、波と堆積物/砂との相互作用によって、海岸の形状がどのように変化するのかを研究しています。

MISHOP の皆さん、私のような外国籍市民をサポートしてくれてありがとうございます！



マット メイヴィエル(マシュー)さん

イギリス出身。

2005 年から日本在住。以前にも LLJ で学習していましたが、今年2月にまた MISHOP へ戻ってきてくれました！



Daily Life 日本での日常は？

Covid-19 のおかげ(?)で、私の仕事は今ではほとんどオンラインで行っています。そのため、通勤時間が短くてすむので、日本語の勉強やギターの練習時間が増えました。…なのに、私の日本語はあまり上達しませんし、ギターの演奏はさらに悪い!(笑)

Problem 何か問題は？

私は一人暮らしなので、困ったときは自分で解決しなければなりません。ですので、問題に自分で対処できるように、日本語力をより向上させたいと思い、勉強をしています。もっと日本人の友達ができたらいいなとも思っています。

実はイギリスに住む母が闘病中です。幸い母の治療は順調ですが、現在海外渡航が制限されているため、私は母に会いに行くことができません。親をサポートすることはとても重要なことなので、できるだけ早く渡航できるように願っています。

母国の家族との連絡は Skype で行っています。とても便利です。私たち家族が、遠く離れていても、離れた家族と話し、それぞれの経験をお互いに共有することは素晴らしいことだと思います。

日本人との交流は？

悲しいことに、私の仕事では主に英語を使っているので、日本人とコミュニケーションをとる機会があまり多くありません。私の日本語は日常生活には十分ですが、日本人とのコミュニケーションを深めるために、話し方や聞き取り方を改善したいと思っています。1日4時間ほど勉強していますが、いつも多くの間違いをしています(T_T)

東京は好きですか？

東京での生活をとても楽しんでいます。世界で最も素晴らしい都市のひとつだと思います。私はここで多くの楽しい経験をしました。もちろん、とてもにぎやかな街ですが、平和と調和を感じることができる静かなエリアもあります。週末は神楽坂や小金井公園を散歩するのが好きです。私は自然と文化が好きなので、週末はクリエイティブでリラックスできることをしようと心がけています。

Dream これからの夢は？

将来的には、日本で永住ビザを取得して、一生ここに滞在できるようになることを願っています。日本語力をさらに磨き、日本社会や国際的な友好関係に貢献できるようになることを願っています。

Message メッセージ

地域に住む外国籍の人々にとても役に立ちフレンドリーなサービスを提供してくれてありがとう。これからもMISHOPの多くの人たちと会い、交流する機会を持ちたいと願っています。日本やその文化について学ぶことがまだまだたくさんあることは知っていますが、最善を尽くします。私のインタビューを読んでくれてありがとう!!



ラウさんが、MISHOP 会員になったのは、今年の1月。マットさんが戻ってきてくださったのが2月。MISHOP が活動を再開した時には、ぜひいろいろなイベントに参加してほしいですね。

ラウさん、マットさん、お忙しい中、アンケート & インタビューにお答えくださり、本当にありがとうございました！



= 新事務局長のご紹介 =

4月1日付で、佐々木事務局長が就任しました。よろしくお願いいたします。



— ご挨拶 佐々木事務局長 —
梶田事務局長の後任で、4月に着任いたしました佐々木と申します。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、MISHOP フェスティバルをはじめとしたほとんどの事業が中止となってしまいました。今年度は、感染状況を見極めながら、事業の再開や見直しを当面の目標として努めてまいりたいと思っています。

MISHOP の事務局として、維持会員の皆様のお役に立てるよう、情報発信や各種事業に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

— 梶田前事務局長より —

2018年度から3年間、大変お世話になりました。

在任中は、協会設立30周年という記念すべき時期を皆さまと一緒することができましたが、一方で新型コロナウイルスの猛威という厳しい局面もありました。

浮き沈みの激しい在任期間でしたが、会員の皆様の暖かいご支援に支えられた3年間でした。

あらためて感謝申し上げます。

私は市役所に戻ることになりましたが、引き続き、MISHOP をどうぞよろしくお願いいたします。

またどこかで皆様とお会いできたら幸いです。

◆ 講座のお知らせ (三鷹ネットワーク大学より)

三鷹ネットワーク大学では、この春から新たに「みたか地球市民講座」を開設しました。大変グローバルで興味深い講座となっていますので、今回お知らせいたします。

なお、掲載依頼時期の関係で、このニュースレター発行時には、第1回目への参加が間に合いません。第2回目からの参加になりますが、参加ご希望の方は、下記連絡先までご連絡の上、お申し込みください。

みたか地球市民講座

文化から見る世界の諸相

フランスが抱える社会問題を考える

～ サブカルチャーを手掛かりとして ～

講師：陣野 俊史

(立教大学文学研究科比較文明学専攻特任教授・作家)

日程・内容：時間はいずれも 19:00 から 20:30

- ① 4/7(水) 戦後フランス社会の諸問題 (総論)
- ② 4/21(水) 郊外問題を映画はどう描いてきたか (映画)
- ③ 5/19(水) フランスの「暴動」事件と音楽の関係 (音楽)
- ④ 6/2(水) いまだくすぶり続ける
シャルリ・エブド事件 (表現の自由)
- ⑤ 6/16(水) キリアン・ムバペはフランスの希望か? (サッカー)

会場：三鷹ネットワーク大学

受講料：一般 3,000 円、市民 2,500 円

申込・問合せ：三鷹ネットワーク大学

0422-40-0313 (担当：篠原)

* 三鷹ネットワーク大学 Web サイトから
受講者登録・申し込みもできます。

講座詳細

<https://www.mitaka-univ.org/kouza/A2150500>

◆ 支援事業の再開及び

恒例イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルスが終息の気配をまったく見せない中、会員ボランティアさんのご協力により、準備期間が終わり、ようやく子ども教室等支援事業の一部が再開の運びとなりました。ご協力ありがとうございました。

一方、新年度に入り、再び感染が拡大傾向を示していることから、慎重に検討した結果、感染予防徹底のため、以下のイベントにつきましては、中止することといたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 国際交流ウォークラリー
- Kick-off Meeting (会員報告会)



◆ コロナ感染予防へのご協力をお願い

MISHOP では、新型コロナウイルス感染予防に最大限の注意を払い開館しています。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

ご来局の際は、

- ① マスクの着用
- ② 手洗い、手指の消毒
- ③ 非接触型体温計による測定
- ④ MISHOP 受付カードへの記入と提出をお願いいたします。

* MISHOP 受付カードは窓口にご用意しています。

公益財団法人 三鷹国際交流協会 <https://www.mishop.jp/>

* 協会施設の窓口業務 -

月曜日～土曜日 (祝祭日を除く) 午前 10 時～午後 5 時